

## 2 教育・文化・地域愛

2-1地域で育む子育て支援

2-2-1明日を生きる力を育む学校教育  
(学校教育)

2-2-2明日を生きる力を育む学校教育  
(阿智高校の存続と発展)

2-3子どもが健やかに育つ保育園

2-4社会教育の充実

2-5スポーツで育む健康、交流

2-6文化活動と地域文化の振興

## 2-1 地域で育む子育て支援

[教育委員会 子育て支援室]

### 施策目標 10年後の阿智村を見据えて

子どもが健やかに育つことができるよう子育て環境を整備し、子どもとその家庭を理解し、支援する地域づくりをめざします。

### 現状と課題

近年、子育てを取り巻く環境は著しく変化し、地域内コミュニティの衰退、核家族化の進行などに加え、IT化、情報過多社会の中で人との繋がりは希薄になる傾向にあります。

幼いうちから家庭を基盤とした適切な生活や環境のもと、自然豊かな地域のなかで実体験と地域の人とのあたたかい関わりを増やし、人や地域に愛着を持って成長していくことができるような施策の展開が求められています。

子育て支援事業では、子育てに悩みや問題を抱えている保護者、親としての意識や感覚が育まれていない保護者に相談・援助、関係機関との情報共有、連携した組織的支援をしてきました。

ライフステージが変わっても継続した支援ができるように保育園から高校までの特別支援教育コーディネーター等の連絡会を設置してきましたが、周囲の理解や将来に繋げるような支援と連携体制をより充実させていくことが課題です。

また、地域で子育てを理解し支援するために、子育ての先輩や地域の人材を子育て支援に活用していくことが必要です。

学童保育事業は、利用児童が増加しており、環境整備や職員の増員、有資格者の配置など、学童保育の充実に努めてきました。現在は学区により待機児童がいる状況で、今後もニーズが高まることが予想されます。こうした問題への対応と「子どもの居場所づくり」という視点で、子どもが安心して過ごせる場所、地域づくりが必要です。

又、6人に1人と言われる、子どもの貧困問題に対する対策の研究も必要です。

## 施策の基本方向

(1) 子育てを応援します。

施策の展開	取組内容
① 子育ての応援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子育て世代包括支援センターを2020年度末までに設置します。</li> <li>○ 妊娠期から子育て期にわたる総合的相談や支援を実施します。</li> <li>○ 設置場所と業務内容を検討し、センターの役割を明確化します</li> <li>○ 専門職や有資格者の配置を継続し、きめ細かい支援に努めます。</li> <li>○ 阿智村保育サポート事業「おひさま」や、保育園での一時預かり保育を継続し、家庭のニーズに対応します。</li> <li>○ 保育サポーター養成講座を開催し、託児や一時預かり等を行うサポーターの増員を図ります。</li> <li>○ 病児病後児保育について実施施設等と連携し、継続します。</li> <li>○ 保育園から高校までの担当者による連絡会の開催、「要支援児童台帳」の整備を継続し、切れ目のない支援を行います。</li> <li>○ 発達障がいについて理解を深める機会を設け、学校や地域の中できちんと育ちあっていく環境や体制の充実を図ります。</li> <li>○ 中高生を対象とした乳幼児触れ合い体験を実施します。</li> <li>○ 子育て支援ネットワーク協議会（要保護児童地域対策協議会）の強化をします。</li> <li>○ 個々のケースに応じて関係機関との連携を図り、迅速かつ的確な対応を行います。</li> <li>○ 児童虐待防止、子どもの権利擁護についての啓発活動や取組を計画し実施します。</li> <li>○ 保護者のニーズに沿った学童保育事業を運営します。</li> <li>○ 待機児童解消に向けた施策を行います。</li> <li>○ 職員の質の向上を図り、集団はもちろん配慮が必要な児童への育成支援を行います。</li> <li>○ 子どもの居場所づくり推進事業に取り組みます。</li> <li>○ 地域や大人とのあたたかなつながりの中で、子どもの成長や自立を促す支援を行います。</li> <li>○ 放課後こども教室、こどもカフェ等を検討し実施します。</li> <li>○ 子どもの貧困問題に対する対策の研究を進めます。</li> </ul>
② 子ども・子育て支援事業計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2019年度に第2期(2020～2024年度)の計画策定を行います。</li> <li>○ 第1期の計画について検証を行うとともに、ニーズ調査を実施します。</li> <li>○ 児童福祉分科会等で住民からの意見を聞く機会を設けます。</li> </ul>

## (2) 親子の交流の場と機会を広げます。

施策の展開	取組内容
①親子の交流の場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「子ども広場」「つどいの広場」を継続し、親子の交流の場を確保します。</li> <li>○幼児教室を継続実施し、年齢に応じた子どもの発達、関わり方等について情報提供と学習の場を確保します。</li> <li>○父親や祖父母が参加する機会を設け、親子をとりまく家族の交流の場を作ります。</li> </ul>
②地域との交流の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の中のさまざまな人材や環境を活かした交流の場や機会を計画します。</li> </ul>

## (3) 学習の機会と情報を提供します。

施策の展開	取組内容
①情報の提供と学習活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「子育てカレンダー」「ひろば通信」を通して情報提供を行います。</li> <li>○ホームページを活用し、情報提供や相談業務に対応します。</li> <li>○孫育て講座を継続し、子育てにおける祖父母の関わり的重要性を伝え、家族の協力を図っていきます。</li> </ul>
②食事に関する学習会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食事学習会を開催し、伝統料理や時節に合わせた料理について学ぶ機会を設けます。</li> </ul>
③思春期学習会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中学生を対象とした性教育を継続実施します。</li> </ul>

## 成果指標

指標名	基準値 (基準年)	目標値(2022)	備考
子育て支援事業 年間延べ利用数	1,560組	1,860組	阿智村子ども子育て 支援事業計画より
学童保育待機児童の解消	99.5%	100%	

## 2-2-1 明日を生きる力を育む学校教育（学校教育）

[教育委員会 学校教育係]

### 施策目標 10年後の阿智村を見据えて

子どもが基礎的・発展的な学力や心身の逞しさを身につけ、将来の夢や進路の実現に向けて、伸び伸びと充実した学校生活を送ることができる学校教育をめざします。

### 現状と課題

グローバル化や情報化、また急激な人口減少や少子化の進行により、教育に求められる課題は多様化してきています。一般的な基礎知識に加え、学習意欲の向上や思考力や判断力の育成など、学校教育において未来を担う人材を育てる施策が求められます。

子ども達が実社会で自立する上では、多様な教育機会の提供や志を育み郷土を愛する教育が必要となっています。

また、情報機器を使っての犯罪やいじめの発生、不登校問題への対応、生活習慣の改善等が大きな課題となっています。

○小学校児童数の推移(2018年度以降は推計値)

単位：人

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
阿智第一小学校	156	170	165	154	166	158	157
阿智第二小学校	95	86	98	88	86	83	74
阿智第三小学校	47	49	46	48	53	56	52
浪合小学校	41	35	39	44	41	33	31
清内路小学校	25	22	24	24	21	20	22
計	364	362	372	358	367	350	336

## 施策の基本方向

(1) 児童生徒の学力向上や心身の成長を支援します。

施策の展開	取組内容
① 児童生徒の学力向上、心身の成長への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各小中学校に特別支援員や心の相談員を配置します。</li> <li>○ 小学校新学習指導要領に対応したALTの授業時間拡大を図ります。</li> <li>○ 小学校に理科支援員を配置し、見通しをもった観察、実験から問題を見いだす学習活動を推進します。</li> <li>○ 小学校に音楽支援員を配置し、授業や音楽会等の行事の充実を図ります。</li> <li>○ 小学校に教育支援主事、学習支援主事を配置し、授業改善や放課後を利用した学習の支援を推進します。</li> <li>○ 学校教育専門主事のコーディネートによる向学の気風の醸成、中学校の教育活動と一体になった村営「若駒アカデミー」を継続・拡充します。</li> <li>○ 学校司書を配置し、村内小中学生の読書活動を充実します。</li> <li>○ 小中学校9年間を一貫した「ふるさと学習」を編成、体系化します。</li> <li>○ 満蒙開拓平和記念館と連携した人権教育を推進します。</li> </ul>

(2) 向上心あふれる学校づくりを支援します。

施策の展開	取組内容
① 小学校間・小中学校間の交流・連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 信州型コミュニティスクールを推進し、地域と一体となった学校運営の充実と学校間連携を図ります。</li> <li>○ 総合学習、行事等を充実させる「阿智村版人材バンク」を作成し、学校間での活用を推進します。</li> <li>○ 小規模校間の授業や行事の交流を推進します。</li> </ul>
② 中学校部活動の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各種部活動を支援する指導員体制を整備します。</li> </ul>
③ ICT教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ICT支援員を配置し、遠隔地の学校間交流や教員研修を推進します。</li> </ul>
④ 各種検定・資格等の取得	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 英語、数学、漢字等の各種検定や資格の取得を促進します。</li> </ul>

## (3) 家庭・地域と連携し、生活習慣の改善と生きる力を育成します。

施策の展開	取組内容
①「あちっ子ライフ」事業の推進による生きる力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○規則正しい生活習慣を身につけるために、小中学校、保育園が連携した「あちっ子ライフ」事業の継続・発展を図ります。</li> <li>○むし歯予防と治療率の向上を図ります。</li> <li>○小中学生のメディア依存の現状から、「NOメディアデー」を中心に、親子の絆を深めるあり方を啓発します。</li> <li>○小学5年生を対象にした通学合宿を継続し、自立心や社会性、モラルの醸成を図ります。</li> </ul>
②学校給食の充実と食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○阿智村産米及び地域食材の利用により食育を推進し、安心、安全な給食を提供します。</li> <li>○給食調理場のあり方を研究します。</li> </ul>
③通学路の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>○阿智村通学路安全推進会議による通学路の安全対策を推進します。</li> </ul>

## (4) 施設設備を整え、よりよい教育環境をめざします。

施策の展開	取組内容
①施設設備の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○村のICT整備計画を基にICT機器・ソフト等を整備します。</li> <li>○老朽施設の改修、照明器具のLED化等を計画的に行います。</li> </ul>

## (5) 学校課題に対応します。

施策の展開	取組内容
①児童虐待、特別支援、いじめ不登校に対応したネットワーク会議の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒の生活実態に対応した援助や支援のあり方を検討します。</li> <li>○「児童・生徒支援ネットワーク会議」「子育て支援ネットワーク会議」「生活・生徒指導ネットワーク会議」の3会議により安心・安全で、いじめや校内暴力のない教育環境を構築します。</li> </ul>

(6) 小学校のあり方について研究します。

施策の展開	取組内容
①小学校のより良い教育環境の研究	<p>○5校体制を基本としながら、児童減少に対応した学級や授業、集団生活のあり方、学校間連携等について研究します。</p> <p>○小規模校の学校課題研究委員会を設置します。</p>

### 成果指標

指標名	基準値 (基準年)	目標値(2022)	備考
全国学力・学習状況調査 国語・算数における「勉強が好きな」児童の割合(小学校)	2017年 国語 20.7% 算数 27.6%	国語 30% 算数 32%	
全国学力・学習状況調査 国語・数学における「勉強が好きな」生徒の割合(中学校)	2017年 国語 20.3% 数学 29.7%	国語 30% 算数 35%	



## 2-2-2 明日を生きる力を育む学校教育

### (阿智高校の存続と発展)

[教育委員会 学校教育係]

#### 施策目標 10年後の阿智村を見据えて

持続可能な村づくりのためには、高校教育の充実も重要な課題です。地元高校である阿智高等学校の存続と発展をめざします。

#### 現状と課題

長野県教育委員会は現在、第2期高校再編計画（2018年以降）に向けた検討を始めています。少子化が進む中で、飯田下伊那地区においては、15年後に高校で12学級程度の学級減が想定されています。

地域高校として本村にある阿智高校は、戦後の人口急増や進学意識高揚の中、向学心あふれるこの地域の青少年の要望に応え、1951（S26）年に組合立として設立された学校が、その後県立高校に移管され、現在に至っています。設立から66年経ちますが、この間多くの有為な人材を地元地域はもとより全国に輩出し、各人がそれぞれの地域の発展に貢献されているところです。

このような中で、阿智高校の存続と発展を願う「阿智高校協力会」が、この課題を下伊那西部地域全体の課題としてとらえ、地域社会の核となる有為な人材の育成と確保をめざして支援活動を推進しています。

本村にとって阿智高校の存続と発展は、持続可能な村づくりのための重要な課題であり、一人でも多くの生徒が地元に着し、村や地域の発展に貢献できる人材となるよう支援に努めます。

### 施策の基本方向

(1) 阿智高校の存続と発展を願う諸団体の活動を支援します。

施策の展開	取組内容
① 阿智高校関係者、支援団体等との情報交換と連携	○ 阿智高校関係者、阿智高校を支援する諸団体と情報交換し、連携を図ります。 ○ 阿智高校の存続と発展について研究を重ねます。
② 阿智高校支援団体の支援	○ 阿智高校を支援する諸団体(阿智高校協力会、阿智高校応援隊、阿智高校同窓会等)を支援します。

(2) 阿智高校との交流活動等を進めます。

施策の展開	取組内容
① 保小中高連携の実施	○ 要保護対策協議会、児童生徒支援ネットワーク会議、生活・生徒指導支援ネットワーク会議において情報を共有し連携を図ります。 ○ あちっ子期(保育園～高校)の子ども達の心や体について、小中高の養護教諭、保育士、保健師と連携し施策を実施します。
② 学力向上、部活動における交流を推進します。	○ 阿智高校「神坂学習塾」と阿智中学校の「若駒アカデミー」及び中高部活動の交流を推進します。

(3) 阿智高校生徒の進学を支援します。

施策の展開	取組内容
① 阿智高校学習塾への支援 阿智高校学習塾への支援	○ 阿智高校協力会が運営している「神坂学習塾」を支援します。
② キャリア教育への協力	○ 阿智高校が設置している地域政策コース(農業・福祉・観光)でおこなうキャリア教育実習に協力し、生徒を受け入れます。
③ 自治体推薦制度による進学支援	○ 自治体推薦制度により、飯伊 8 校の阿智村出身生徒の進学を支援します。

### 成果指標

指標名	基準値 (基準年)	目標値(2022)	備考
阿智高校地域政策コース 地域と連携した年間授業日数	2017年 105時間 (3h*35週)	140時間 (4h*35週)	

## 2-3 子どもが健やかに育つ保育園

[教育委員会 保育園]

### 施策目標 10年後の阿智村を見据えて

新「保育所保育指針」に基づき、心身ともに健全な子どもの発達を図る保育を実施するとともに、多様化する保護者のニーズを把握し、保育時間の拡充と未満児保育の充実をめざします。

また、子どもを取り巻くさまざまな人たちとの関わりをもつことで社会性を育てながら、各園の地域性を活かした特色ある保育を進めます。

### 現状と課題

乳児～3歳未満児に対する保育や保育時間の保障、子育て支援の充実が求められており、施設の整備や未満児保育の拡充、保健スタッフの配置等を推進してきました。また、望ましい生活習慣の習得やノーメディアの取り組み、コミュニケーション能力向上のため異年齢交流や他園との交流会を実施しているところです。

要支援児童については、支援担当職員を配置し子育て支援室や臨床心理士と連携した対応を進めています。

食育の推進として給食献立の工夫や年齢別の指導を行っています。

保育料については、国の意向にも沿いながら低所得、多子世帯への減免を実施しています。

保育体制の改善として2016（H28）年度より複数副園長の配置等を行い、地域の特色を活かした保育を目指しています。

職員の資質向上については研修への参加と保育研究会を実施してきました。

近年、保護者のニーズは一層多様化してきており、保育時間の拡充や、未満児保育施設の増設などが今後の課題です。

○保育園児数（3歳以上児）の推移（2018年度以降は居住地による推計値）単位：人

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
あふち保育園	73	68	69	75	64	61
伍和保育園	39	45	33	34	32	29
智里東保育園	24	32	29	33	32	28
智里西保育園	6	7	8	8	7	8
浪合保育園	10	11	8	6	4	4
清内路保育園	9	10	8	14	15	15
計	161	173	155	170	154	145

## 施策の基本方向

(1) 公立保育園として多様なニーズに対応できる運営をめざします。

施策の展開	取組内容
① 保護者や家庭のニーズに対応する保育施設、制度の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 智里西保育園の改修を実施します。</li> <li>○ 伍和保育園、智里東保育園の延長保育を充実します。</li> <li>○ 未満児保育施設を増設します。</li> <li>○ 小学校との連携をより充実します。</li> <li>○ 日曜保育について研究します。</li> <li>○ 保健師または看護師の配置を継続します。</li> <li>○ 園庭の芝生化について検討します。</li> </ul>

(2) 心身ともに健康で明るく社会性のある子どもを育てます。

施策の展開	取組内容
① 「あちっ子ライフ」事業推進、コミュニケーション能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活習慣の意識づけを継続します。</li> <li>○ 施設訪問などを継続的に実施します。</li> <li>○ 小中学校と連携強化を図った NO-メディアデーを実施します。</li> </ul>

(3) 一人ひとりの子どもに合わせた保育を行います。

施策の展開	取組内容
① 要支援児童の情報の共有、発達支援研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子ども支援担当職員、臨床心理士の配置を継続します。</li> <li>○ 要保護児童対策協議会との連携を継続します。</li> </ul>

(4) 食育の充実を図ります。

施策の展開	取組内容
① 給食献立の工夫、家庭への情報提供、歯磨き習慣づくり等の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 献立カードを利用し、家庭への情報提供を継続します。</li> <li>○ 食育計画による年齢別の食育指導を継続します。</li> <li>○ 箸・スプーンの持ち方、姿勢の大切さを啓発します。</li> <li>○ 噛むことの大切さを伝えるための家庭への情報提供を行います。</li> <li>○ 個別対応が必要な家庭への食事相談を継続します。</li> <li>○ 歯磨きや、歯の治療が充分に行えない家庭への情報提供を行います。</li> </ul>

(5) 適切な保育料を設定します。

施策の展開	取組内容
① 子育て世帯への経済的負担の軽減	<ul style="list-style-type: none"> <li>○低所得、多子世帯への負担額を軽減した保育料を設定します。</li> <li>○村独自の減免制度を継続します。</li> </ul>

(6) 保育園体制のあり方を研究します。

施策の展開	取組内容
① 6園体制のあり方の研究、延長保育、未満児増への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各園の特色を活かした保育を実施します。</li> <li>○延長保育、未満児保育の要望に対応できる職員数を確保します。</li> <li>○職員の働き方について研究します。</li> </ul>
② 保育士の確保と研修等への参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育実習生の受け入れを行います。</li> <li>○後継者となる保育士の育成を行います。</li> <li>○保護者支援・子育て支援・障がい児保育等の研修に参加します。</li> <li>○臨時職員も研修に参加できる体制を構築します。</li> </ul>

### 成果指標

指標名	基準値 (基準年)	目標値(2022)	備考
延長保育実施園数	3園 (2018)	5園	
未満児保育実施園数	4園 (2018)	5園	

## 2-4 社会教育の充実

[教育委員会 社会教育係]

### 施策目標 10年後の阿智村を見据えて

生活や地域を対象とした村民の自主的自発的な学習の場、住民・団体の交流活動の場として公民館・図書館の役割を維持強化し、社会教育活動を活発に行います。

### 現状と課題

- (1) 時代の変化に対応した、多様な学習が求められています。
- (2) 地域住民同士のつながりが弱くなり、公民館利用者・学習会等参加者が固定化しています。

○ 図書貸出し冊数の推移（2017年度は見込み）

単位：冊

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
貸出数	39,580	38,467	36,332	38,457	38,506	38,700

### 施策の基本方向

(1) 公民館として文化スポーツの振興、生活に根差した自主的自発的な学習を支援し、地域課題を見出すなど、住民自治を学習的側面から担います。

施策の展開	取組内容
① 公民館活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公民館利用団体を支援します。</li> <li>○ 地区公民館における各種学習会を支援します。</li> <li>○ 地域を担う住民の学習活動充実のため、公民館セミナーを行います。</li> <li>○ 専門部員研修を定期的に行い、より地区館の活動が発展するよう支援します。</li> <li>○ 公民館報・恵那山などを活用した公民館活動の広報を実施します。</li> </ul>
② 学習への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 阿智村社会教育研究集会や公民館セミナーなど、地域課題、多様な学習テーマや青年から高齢者まで各世代にわたる学習会を実施します。</li> <li>○ 次代を担う青年の活動を支援し、成人式、「新あち未来塾」のように若い人の交流の場を企画していきます。</li> <li>○ 高齢者に向けて老後の設計・生きがい・健康など生涯現役の学習機会を作ります。</li> </ul>
③ 読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 幼児から高齢者まで全ての世代を対象に読書支援を行います。</li> <li>○ 本の相談(レファレンス)の充実を図ります。</li> <li>○ 職員やボランティアによる読み聞かせ活動の充実を図ります。</li> <li>○ 作家、本の専門家などの講演会を行います。</li> <li>○ 蔵書スペースや利便性向上のため、図書館ネットワークの広域連携について検討します。</li> </ul>

### 成果指標

指標名	基準値(基準年)	目標値(2022)	備考
社会教育研究集会参加者数	180人 (2016年度)	200人	
図書館貸出数	38,506冊 (2016年度)	39,000冊数	

## 2-5 スポーツで育む健康、交流

[教育委員会 社会教育係・公民館]

### 施策目標 10年後の阿智村を見据えて

幅広い世代が継続的にスポーツに取り組める環境を整備し、地域内の交流・健全育成が図れる村をめざします。

### 現状と課題

2020年開催の東京オリンピックでは新たな種目が追加されるなど、従来のスポーツの他に新たなスポーツも普及し、人口の少ない地方でもスポーツ環境の充実を求める人が増えてきています。

また、ウォーキングなど健康志向をはじめスポーツへの参加目的が多様化してきている中、総合型スポーツクラブ、チャレンジゆう A c h i は継続会員が定着している一方で、クラブの継続的な安定運営が課題となっています。

今後も多様化するスポーツニーズに応え、スポーツ人口を増やすために、指導者体制の整備や社会体育施設の整備が求められています。2027年には第82回国民体育大会、第27回全国障害者スポーツ大会が長野県で開催されるなど、これらをスポーツに親しむ契機と捉え、村民にアピールしていく必要があります。

スポーツに参加する人たちがリスクを理解し、けがの予防やけがの応急措置に対応できるよう講習会も行なっていきます。

### 施策の基本方向

(1) 気軽に親しみ、楽しめるスポーツ環境を整備します。

施策の展開	取組内容
① スポーツ大会、講習会の実施とスポーツ施設の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○阿智村駅伝大会を実施します。</li> <li>○各地区の村民運動会を支援します。</li> <li>○AED、テーピング等の講習会を実施し、安全管理の向上を図ります。</li> <li>○多様化するニーズに対応し、様々なスポーツ大会を開催します。</li> <li>○ウォーキングやニュースポーツなど村民が気軽に楽しめるスポーツ環境の整備を推進します。</li> <li>○総合運動場を検討します。</li> </ul>



(2) 人間形成の手段としてスポーツ振興を図ります。

施策の展開	取組内容
① 体育団体の活動支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スポーツ団体の自主的活動を促し、スポーツ大会等積極的に支援します。(村民ゴルフ・マレットゴルフ大会、軟式野球大会、少年野球ほか)</li> <li>○「チャレンジゆうAchi」を支援し、各自が必要なプログラムの充実を図ります。</li> </ul>

### 成果指標

指標名	基準値 (基準年)	目標値(2022)	備考
講習会参加者	102名 (2017年度)	110名	AED・テーピング講習会・ウォーキング講習会参加者数(合計)
チャレンジゆうAchi会員数	509人 (2016年度)	510人	人口ビジョン総合戦略の減少率を利用

## 2-6 文化活動と地域文化の振興

[教育委員会 社会教育係・公民館]

### 施策目標 10年後の阿智村を見据えて

住民の文化活動を支援し文化振興を進めます。村の豊かな自然・歴史・文化財への関心を高め、文化財の価値を共有し、保護活動の推進により地域への愛着を高めます。

### 現状と課題

住民による文化活動への支援として阿智祭や村内文化施設など発表の場を作り文化イベント事業を活用したイベントも活発に行われてきました。引き続き住民の文化活動を支援し文化振興を進めていきます。

小黒川のミズナラ、日本一の星空、熊谷元一の農村記録写真、戦時ポスター、神坂峠園原など東山道関連遺跡群、清内路の手づくり花火など地域の自然歴史文化資源が多くあります。これら資源の保護、活用を地域づくりに生かし、阿智村の個性を生み出し地域の誇りを育みます。

これまで、地域づくりと結び付けて住民主体の文化財保護活用が活発に行われ、村外の研究機関・大学との連携した調査を行い、特色のある取り組みとして注目されています。また指定文化財の整理、歴史・文化財冊子作成、各地区の自然歴史文化資源を活用しての地域づくり支援をすすめてきました。

引き続き指定文化財保護、新規文化財指定、埋蔵文化財保護の充実、阿智学講座の充実を進めます。

### 施策の基本方向

(1) 住民による文化活動への支援を進めます。

施策の展開	取組内容
① 住民による文化活動への支援を進めます。	○阿智祭等文化活動の発表の場を提供します。 ○文化イベント事業を補助します。

(2) 国県などの文化財保護制度を活用し、阿智村に合った保護制度を構築していきます。

施策の展開	取組内容
① 指定文化財保護等を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新規文化財の指定、パンフレットやホームページ、公共施設などを利用した指定文化財の公開を推進します。</li> <li>○登録有形文化財制度を活用しながら建造物等の保護活用を行います。</li> </ul>
② 地域の自然、歴史、文化の掘り起こし、見直し、活用をしていきます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地区公民館や地域探訪ウォークなどイベントと連携します。</li> <li>○阿智学講座の充実などにより美術・自然など多方面の学習機会を増やします。</li> </ul>

### 成果指標

指標名	基準値 (基準年)	目標値(2022)	備考
文化団体数(公民館登録)	40 (2017年度)	45	増加ないし維持
指定文化財数	国2 県4 村69 (2017年度)	国2 県5 村75	指定文化財数の維持ないし増加



大品坂(駒場)